

【 果 樹 】

いちご・りんご・柑橘類中心の販売。いちごについては現状不足感のある販売となっているが3月中旬からは順次増量となるため徐々に相場を下げての販売となる見通し。干し柿については各産地出荷終盤となり、全体量は減少しているため、相場を底上げしながらの販売となる見込み。

【 野 菜 】

重量野菜の減少により野菜全般の入荷重量は減少しているが、果菜類・葉茎菜類は関東産の入荷が開始され漸増している。春野菜とサラダ商材の売り場が拡大されるため、きゅうり・トマトなどの果菜類や豆類・茎菜類は需要高まる。全般に数量少なかったため高値基調で推移したが、暖候期に入り増量となる可能性が高く今後は野菜全般に相場は下げ基調となる見通し。

<きゅうり>

関東産を中心に増量が見込まれる。末端の売り場は拡大傾向にあるがさらに売り場を強めるため次週は相場を下げる見通し。

5 kg A品 2,000 ~ 1,800 円

<大玉トマト>

各産地増量となるが、月替わりで引き合いが強まることが見込まれ入荷量次第だが相場は強保合となる見通し。

4 kg AM 1,500 ~ 1400 円

<ねぎ>

入荷量少ない状況だが末端での販売切替に伴い引き合いが弱まることから相場は保合見通し。

5 kg AL 1,200 ~ 1,000 円

<にら>

春商材の展開進むため引き合いが弱まる可能性が高い。また、暖候期に入り品質重視で荷を止めないため相場をさらに弱める見通し。

100g 束 AL 北海道 70 円 県内・京浜 60 円

<春菊>

全体の入荷量は減少しているが量販店の春商材棚が広がりつつあり売り場を極端に狭めないよう相場を弱めながらの販売となる見通し

150g FG A 北海道 100 ~ 90 円 県内・京浜 70 円

<しいたけ>

入荷量が漸減となるが気温が上昇し消費も鈍るため末端の荷動き次第であるが相場は弱保合の見通し

100gPK 130 ~ 100 円